

## 貯蓄の状況

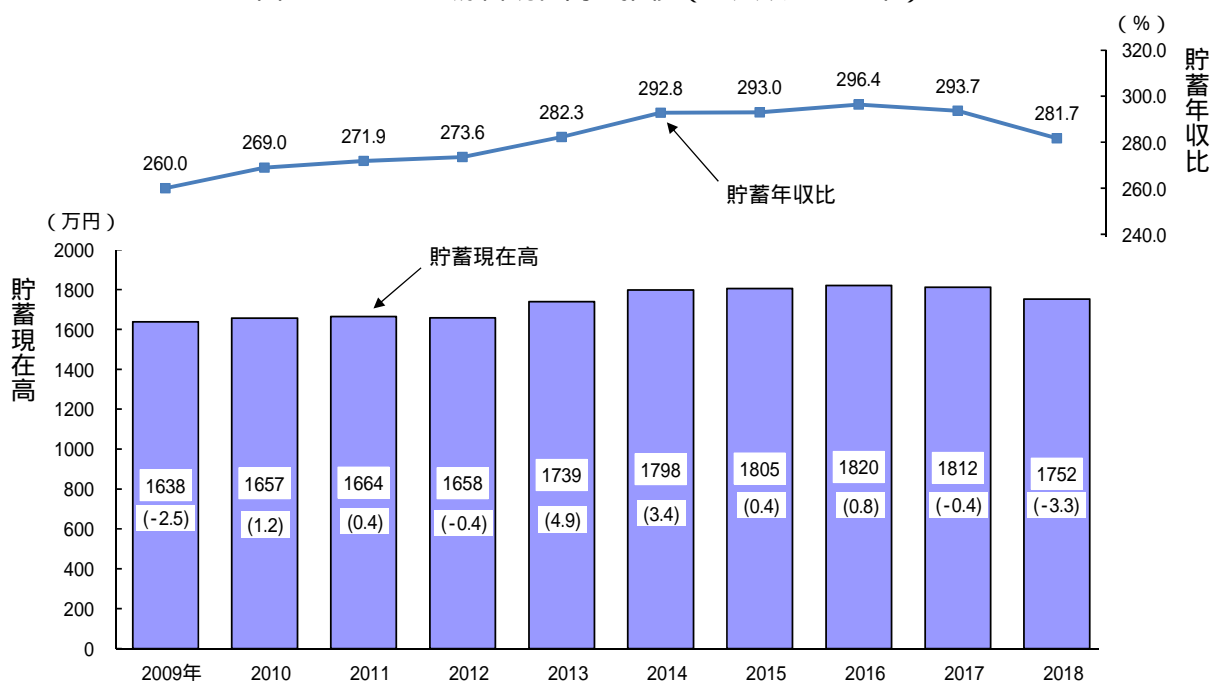
### 1 概況

#### (1) 貯蓄現在高は1752万円で2年連続の減少

二人以上の世帯における2018年平均の1世帯当たり貯蓄現在高（平均値）は1752万円で、前年に比べ60万円、3.3%の減少となり、2年連続の減少となっている。貯蓄保有世帯全体を二分する中央値は1036万円（前年1074万円）となっている。また、年間収入は622万円で、前年に比べ5万円、0.8%の増加となり、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は281.7%で、前年に比べ12.0ポイントの低下となっている。

（図I-1-1，表I-1-1）

図I-1-1 貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）



注) ( ) 内は、対前年増減率(%)

表I-1-1 貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）

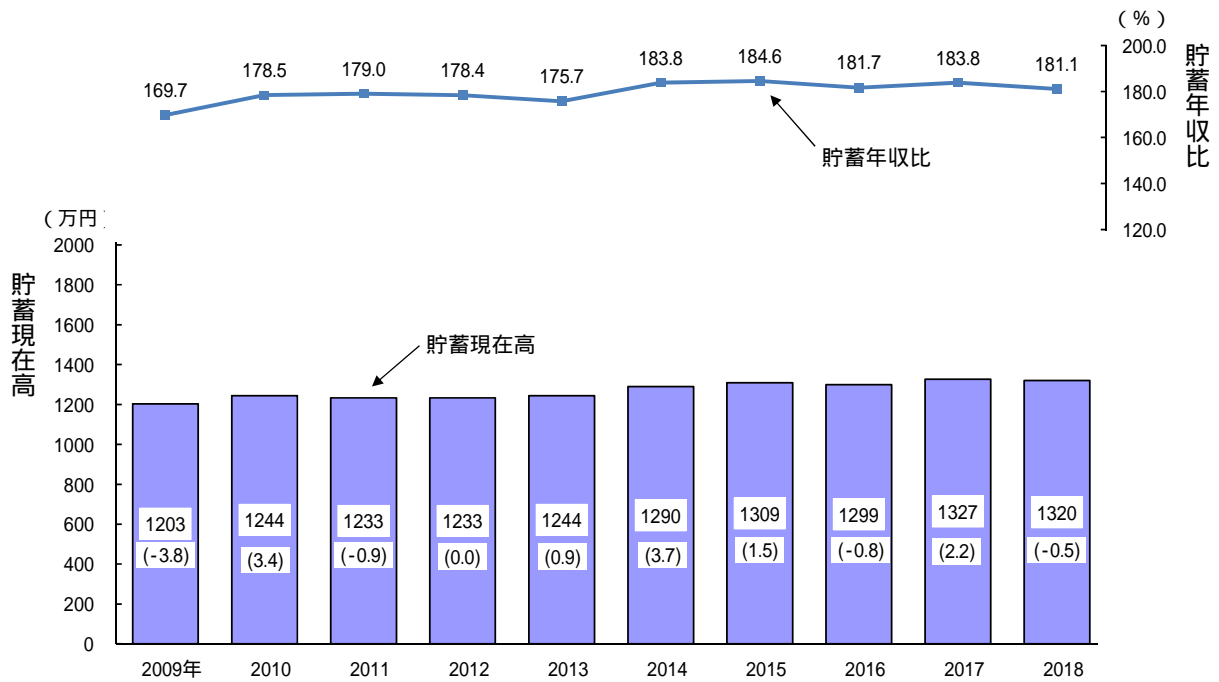
年次	貯蓄現在高 (1) (万円)	年間収入 (2) (万円)	対前年増減率		貯蓄年収比 (1)/(2) (%)	貯蓄保有世帯の中央値 (万円)
			貯蓄現在高 (%)	年間収入 (%)		
2009年	1638	630	-2.5	-1.1	260.0	988
2010	1657	616	1.2	-2.2	269.0	995
2011	1664	612	0.4	-0.6	271.9	991
2012	1658	606	-0.4	-1.0	273.6	1001
2013	1739	616	4.9	1.7	282.3	1023
2014	1798	614	3.4	-0.3	292.8	1052
2015	1805	616	0.4	0.3	293.0	1054
2016	1820	614	0.8	-0.3	296.4	1064
2017	1812	617	-0.4	0.5	293.7	1074
2018	1752	622	-3.3	0.8	281.7	1036 (978)

貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄現在高が「0」の世帯（以下「貯蓄「0」世帯」という。）を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。  
( ) 内は、2018年の貯蓄「0」世帯を含めた中央値（参考値）。

このうち勤労者世帯（二人以上の世帯に占める割合54.3%）についてみると、貯蓄現在高（平均値）は1320万円で、前年に比べ7万円、0.5%の減少となり、貯蓄保有世帯の中央値は798万円（前年792万円）となっている。二人以上の世帯全体と比べると、平均値、貯蓄保有世帯の中央値共に低くなっている。また、年間収入は729万円で、前年に比べ7万円、1.0%の増加となり、貯蓄年収比は181.1%で、前年に比べ2.7ポイントの低下となっている。

（図I - 1 - 2，表I - 1 - 2）

図I - 1 - 2 貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



注)( )内は、対前年増減率(%)

表I - 1 - 2 貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

年次	貯蓄現在高 (1) (万円)	年間収入 (2) (万円)	対前年増減率		貯蓄年収比 (1)/(2) (%)	貯蓄保有世帯の中央値 (万円)
			貯蓄現在高 (%)	年間収入 (%)		
2009年	1203	709	-3.8	-1.1	169.7	754
2010	1244	697	3.4	-1.7	178.5	743
2011	1233	689	-0.9	-1.1	179.0	729
2012	1233	691	0.0	0.3	178.4	757
2013	1244	708	0.9	2.5	175.7	735
2014	1290	702	3.7	-0.8	183.8	741
2015	1309	709	1.5	1.0	184.6	761
2016	1299	715	-0.8	0.8	181.7	734
2017	1327	722	2.2	1.0	183.8	792
2018	1320	729	-0.5	1.0	181.1	798
						(741)

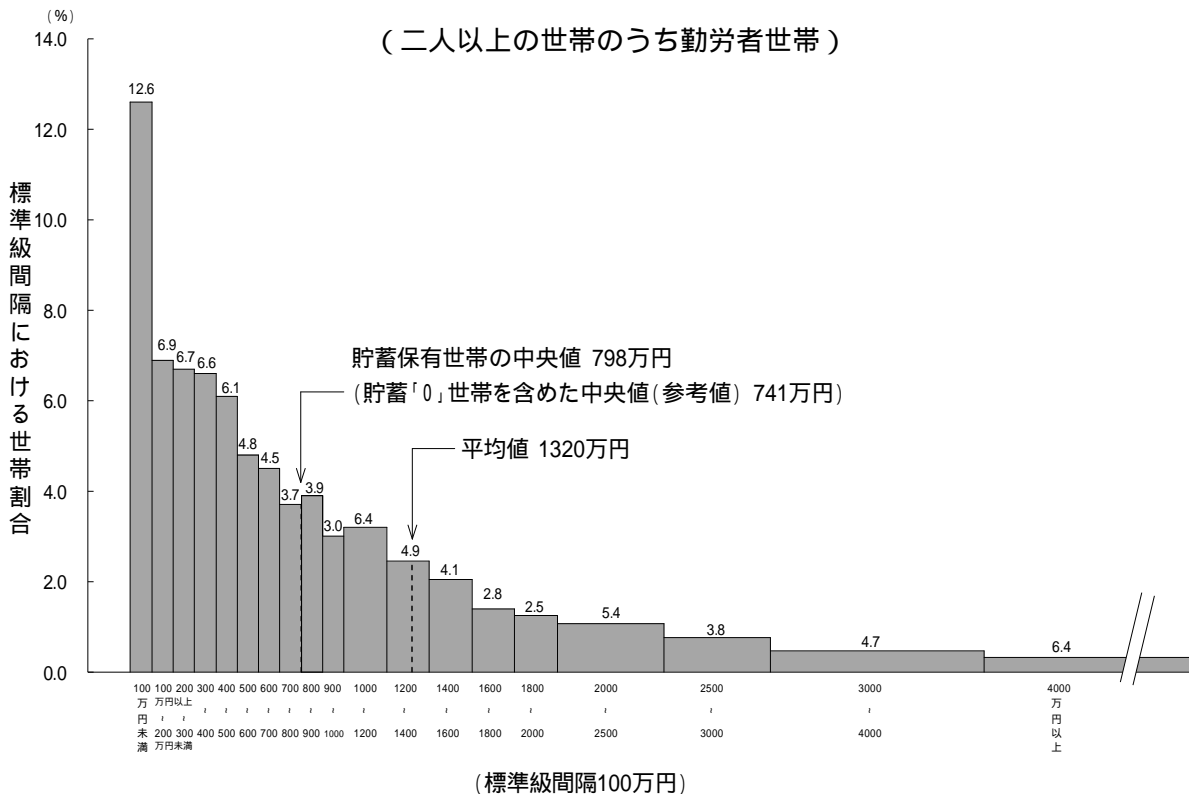
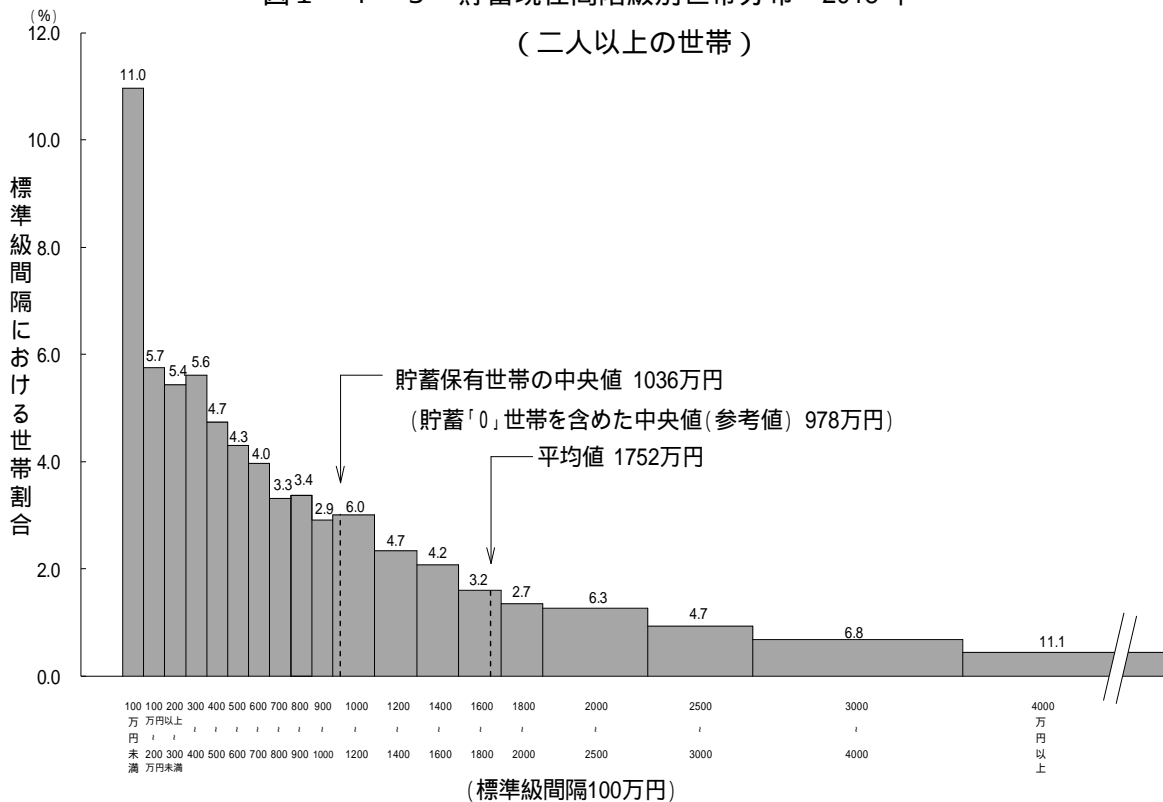
貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄「0」世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の低い方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。( )内は、2018年の貯蓄「0」世帯を含めた中央値(参考値)。

(2) 貯蓄現在高が平均値（1752万円）を下回る世帯が約3分の2を占める

二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、貯蓄現在高の平均値（1752万円）を下回る世帯が67.7%（前年67.0%）と約3分の2を占めており、貯蓄現在高の低い階級に偏った分布となっている。

(図I-1-3)

図I-1-3 貯蓄現在高階級別世帯分布 - 2018年 -  
(二人以上の世帯)



注) 標準級間隔100万円（1000万円未満）の各階級の度数は縦軸目盛りと一致するが、1000万円以上の各階級の度数は階級の間隔が標準級間隔よりも広いため、縦軸目盛りとは一致しない。

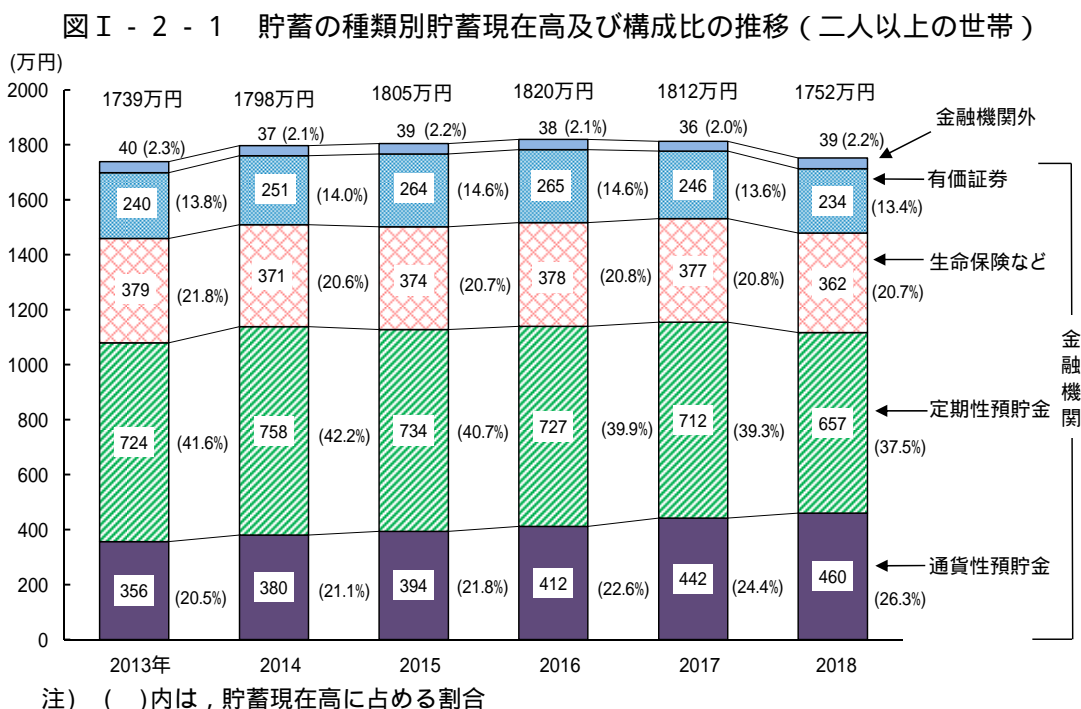
## 2 貯蓄の種類別内訳

### 通貨性預貯金は10年連続の増加

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高をみると、定期性預貯金が657万円（貯蓄現在高に占める割合37.5%）と最も多く、次いで通貨性預貯金が460万円（同26.3%）、「生命保険など」が362万円（同20.7%）、有価証券が234万円（同13.4%）、金融機関外が39万円（同2.2%）となっている。

2017年と比べると、通貨性預貯金及び金融機関外は増加となっている。通貨性預貯金は、前年に比べ18万円、4.1%の増加となり、10年連続の増加となっている。一方で、定期性預貯金は、前年に比べ55万円、7.7%の減少となり、4年連続の減少となっている。

（図I-2-1、表I-2-1）



表I-2-1 貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯）

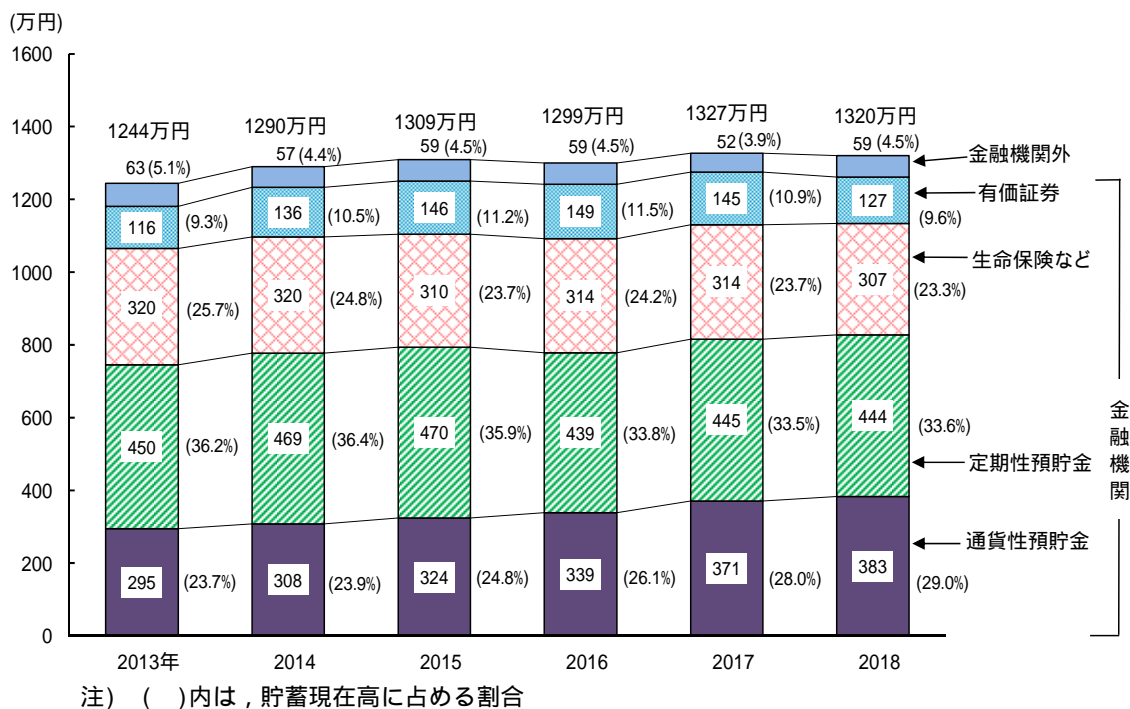
年次	貯蓄現在高	金融機関								金融機関外
		通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券	株式・株式投資信託	貸付信託・金銭信託	債券・公社債投資信託		
金額 (万円)										
2013年	1739	1699	356	724	379	240	161	12	67	40
2014年	1798	1761	380	758	371	251	175	12	64	37
2015年	1805	1765	394	734	374	264	192	13	59	39
2016年	1820	1782	412	727	378	265	197	17	51	38
2017年	1812	1777	442	712	377	246	188	13	45	36
2018年	1752	1712	460	657	362	234	178	11	45	39
構成比 (%)										
2013年	100.0	97.7	20.5	41.6	21.8	13.8	9.3	0.7	3.9	2.3
2014年	100.0	97.9	21.1	42.2	20.6	14.0	9.7	0.7	3.6	2.1
2015年	100.0	97.8	21.8	40.7	20.7	14.6	10.6	0.7	3.3	2.2
2016年	100.0	97.9	22.6	39.9	20.8	14.6	10.8	0.9	2.8	2.1
2017年	100.0	98.1	24.4	39.3	20.8	13.6	10.4	0.7	2.5	2.0
2018年	100.0	97.7	26.3	37.5	20.7	13.4	10.2	0.6	2.6	2.2
対前年増減率 (%)										
2014年	3.4	3.6	6.7	4.7	-2.1	4.6	8.7	0.0	-4.5	-7.5
2015年	0.4	0.2	3.7	-3.2	0.8	5.2	9.7	8.3	-7.8	5.4
2016年	0.8	1.0	4.6	-1.0	1.1	0.4	2.6	30.8	-13.6	-2.6
2017年	-0.4	-0.3	7.3	-2.1	-0.3	-7.2	-4.6	-23.5	-11.8	-5.3
2018年	-3.3	-3.7	4.1	-7.7	-4.0	-4.9	-5.3	-15.4	0.0	8.3

このうち勤労者世帯についてみると、定期性預貯金が444万円（貯蓄現在高に占める割合33.6%）と最も多く、次いで通貨性預貯金が383万円（同29.0%）、「生命保険など」が307万円（同23.3%）、有価証券が127万円（同9.6%）、金融機関外が59万円（同4.5%）となっている。

2017年と比べると、通貨性預貯金及び金融機関外は増加となっている。通貨性預貯金は、前年に比べ12万円、3.2%の増加となり、比較可能な2003年以降増加が続いている。一方で、有価証券は、前年に比べ18万円、12.4%の減少となり、2年連続の減少となっている。

（図I-2-2，表I-2-2）

図I-2-2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



表I-2-2 貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

年次	貯蓄現在高	金融機関								金融機関外
		通貨性預貯金	定期性預貯金	生命保険など	有価証券	株式・株式投資信託	貸付信託・金銭信託	債券・公社債投資信託		
金額 (万円)										
2013年	1244	1181	295	450	320	116	80	6	29	63
2014年	1290	1233	308	469	320	136	101	6	29	57
2015年	1309	1250	324	470	310	146	113	7	26	59
2016年	1299	1241	339	439	314	149	115	12	22	59
2017年	1327	1274	371	445	314	145	112	9	24	52
2018年	1320	1260	383	444	307	127	98	4	25	59
構成比 (%)										
2013年	100.0	94.9	23.7	36.2	25.7	9.3	6.4	0.5	2.3	5.1
2014年	100.0	95.6	23.9	36.4	24.8	10.5	7.8	0.5	2.2	4.4
2015年	100.0	95.5	24.8	35.9	23.7	11.2	8.6	0.5	2.0	4.5
2016年	100.0	95.5	26.1	33.8	24.2	11.5	8.9	0.9	1.7	4.5
2017年	100.0	96.0	28.0	33.5	23.7	10.9	8.4	0.7	1.8	3.9
2018年	100.0	95.5	29.0	33.6	23.3	9.6	7.4	0.3	1.9	4.5
対前年増減率 (%)										
2014年	3.7	4.4	4.4	4.2	0.0	17.2	26.3	0.0	0.0	-9.5
2015年	1.5	1.4	5.2	0.2	-3.1	7.4	11.9	16.7	-10.3	3.5
2016年	-0.8	-0.7	4.6	-6.6	1.3	2.1	1.8	71.4	-15.4	0.0
2017年	2.2	2.7	9.4	1.4	0.0	-2.7	-2.6	-25.0	9.1	-11.9
2018年	-0.5	-1.1	3.2	-0.2	-2.2	-12.4	-12.5	-55.6	4.2	13.5